

河北新報普及センターと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2019年 11月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】
名取市内
【部数】
11,600部
【電話】
022(266)2991



サンバ隊リーダーのアンドレアさん

2019 ふるさと名取秋まつり 開催!

名取ならではの秋をエンジョイ

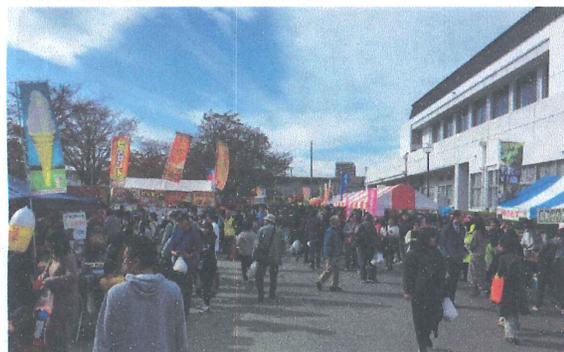
市内の農林水産物や商工業品の展示・販売を通じて生産者と消費者が交流し、秋の恵みに感謝する「ふるさと名取秋まつり」(実行委員会主催)が文化の日の3日、市民体育館で開催されました。80を超える企業・団体のブースが並びました。

カメラメーカー「仙台ニコン」は一眼レフカメラの展示や、一口ようかん「ニコンようかん」を販売。人事・総務課マネージャーの中島さんは「10回目の参加です。消費者に事業をアピールするいい機会です」と話しました。

「国際交流協会ともだちin名取」は、ブラジル・グアララペス市との姉妹都市締結40周年を記念し、締結当時の広報誌を展示。グアララペス市にある名取との友好を示すスポットをパネルで紹介しました。アリーナや屋外ステージではサンバが披露され、会場は盛り上がりました。サンバ隊リーダーのアンドレアさんは「東北各地で披露してきましたが、どこよりも多くの人に楽しんでもらうことができた」と陽気な踊りで喜びを表現していました。



「ニコンようかん」をPRする中島さん



(石幡快)

株式会社ゼンシンの活動

指導の基本は子どもたちとの信頼関係を築くこと

「株式会社ゼンシン」は宮城、山形両県で少年サッカークラブを運営しています。それぞれの子供たちの障害特性に合わせた全国的にも珍しいサッカー療育を行う放課後等デイサービスにも取り組んでいます。社長の前田忠嗣さんは「指導者の指導力の向上を図りながら、家族や社会の多様化するニーズに添えていきたい」と話します。サッカークラブの指導員は、技術の向上はもちろん、履物をそろえる、整理整頓する、きちんとあいさつするなど礼儀にも重きを置いて、人間性を磨くことを指導の基本に据えています。

スクールは県内7会場、山形5会場で実施。現在、小中高生計約400人が会員登録しています。

放課後等デイサービスは、県内の名取市高館と利府、仙台市泉区の3カ所、山形市内2カ所、沖縄県名



護市、うるま市の2カ所の計7カ所に事業所を開設しています。サッカーを通して、障害児らに運動の機会を提供し、運動機能の向上を促します。

チームスポーツに取り組み、コミュニケーション力や感情のコントロールを身に付けてもらう狙い



もありません。クラブもデイサービスも「指導員と子どもたちの信頼関係がベース」と前田さんは力を込めます。「関係構築が難しいからこそ一人一人に寄り添い、課題を乗り越えることができるよう応援しています。体を自由に動かす喜びを通じて自信を深め、自己肯定感を高めてもらいたい」前田さんは今日も子どもたちを笑顔にするため、スタツフと汗を流しています。

(星野裕太)

◇◇◇◇◇
【所在地】高館吉田字前沖75の18
【事業内容】サッカークラブ「アバンツァーレ」と放課後等デイサービス「アバンツァーレスポーツ」を運営。就労支援事業も行う。主に発達障害の小学生から高校生までを受け入れている。受け入れについては事前にご相談ください。
【連絡先】022(796)9845

